

小学校における専門性を生かした教科担任制による指導

小樽市立高島小学校 学級数 10 (校長 篠崎 大作)

実践の概要

本校では、学園制加配活用事業の加配教員による教科担任制に合わせて、学級担任間の授業交換による教科担任制も進めてきた。今年度は、教科担任制により、複数の教員が各学級に関わることを生かし、組織的な生徒指導による多面的な児童理解と授業準備の効率化による働き方改革の推進を重点に実践を進めている。

1 実践の目的

専門性を生かした教科指導の充実による児童の資質・能力の育成と組織的な生徒指導による多面的な児童理解、教科担任の活用による学級担任の業務負担軽減に向け実践を進める。

2 実践内容

(1) 実施計画

学級担任間の授業交換による教科担任制の実施：第3・4学年社会、理科、第5、6学年国語、社会、算数、体育

(2) 取組の具体

- ア 学級担任の指導教科を絞り込むことで、教材研究の負担軽減を図る。
- イ 教員の専門性を生かすことができ、授業時数等の差が少なくなるよう配慮して担当教科を決定する。

- ・ A 教諭 (第3学年学級担任) : 第3・4学年社会を担当
- ・ B 教諭 (第4学年学級担任) : 第3・4学年理科を担当
- ・ C 教諭 (第5学年学級担任) : 第5・6学年社会及び体育を担当
- ・ D 教諭 (第6学年学級担任) : 第5・6学年国語を担当
- ・ E 教諭 (第6学年学級担任) : 第5・6学年算数を担当

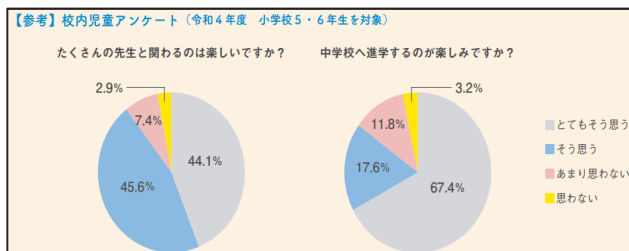
【令和5年度教科担任制】

- ウ 学級担任が指導に当たらない教科については、次年度に担当するなど、複数年を見越して人事配置を計画し、学級担任の指導力が保たれるよう配慮する。

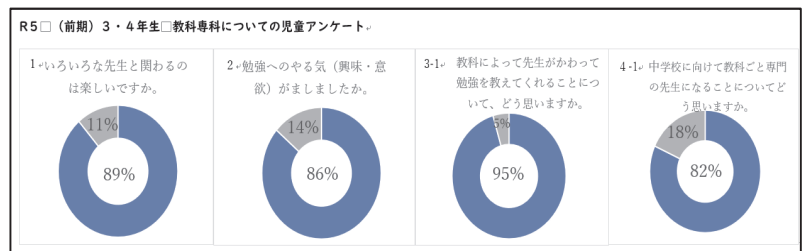
- エ 多面的な児童理解が可能となるよう、学級担任と教科担任が児童に関する情報を共有する体制を構築し、生徒指導上の問題の早期発見、早期解消に取り組む。

(3) 取組後の点検・評価、工夫改善

- ・教科担任として教員が複数の学級を指導することで、学級間で指導内容や進度の差が少なくなった。
- ・教科担任制を行ったことで教員に空き時間が生まれ、教材研究の充実が図られ質の高い授業につながった。
- ・教科担任制に係る児童の感じ方や実態を把握した上で、指導・支援に生かしたり、児童に関する情報(学力、特性、支援の方法等)を学級担任・教科担任間で共有したりすることで、より専門的な指導につながると考え、児童アンケートの実施と放課後の打合せ等で学級及び担当教科での児童の様子を共有し合うなど、きめ細かな情報の共有を図った。



【第3・4学年児童アンケート結果】



【第5・6学年児童アンケート結果】

(4) 改善後の取組

学級担任・教科担任間で継続的に児童に関する情報(学力、特性、支援の方法等)共有を図ったことで、児童理解が深まり、状況によって学級担任が指導したり、学級担任以外が指導したりするなど柔軟な対応が可能になり、個に応じた指導の充実につながった。

3 実践のポイント

- ・教科担任の専門的な指導による児童の学習意欲の高まりと資質・能力の育成を図ること
- ・学級担任と教科担任の連携による児童理解の充実を図ること